

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
			2・東書	第1・2・3学年 家庭分野	家庭・701
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 家庭分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「A 家族・家庭生活」において、家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、家族・家庭や地域についての課題を解決する力を養うよう、相手の立場や役割を自分に置き換えて考える活動や、高齢者との関わり方を体験する活動 ・「B 衣食住の生活」において、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、衣食住の生活についての課題を解決する力を養うよう、バランスのよい献立を考える活動や、資源や環境に配慮した「エプロン」や「ペットボトルカバー」などを製作する活動 ・「C 消費生活・環境」において、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、身近な消費生活と環境についての課題を解決する力を養うよう、クレジットカードの三者間契約について理解を深める活動や、消費行動が環境に与える影響を考える活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「責任ある消費者になるために」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、SDGsを取り上げ、自分や家族の消費行動が社会に与える影響を話し合うなど、考えを広げたり深めたりする活動 			
内容の構成・排列、分量等		<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3学年間の学習の見通しを立てさせるため巻頭にガイダンス的な内容を位置付けるとともに、「私たちの生活と家族・家庭の機能」で基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける学習を行った後に、「地域での協働を目指して」で中学生として地域の人々との関わり方について学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ・「A 家族・家庭生活」と「B 衣食住の生活」の関連を図り、幼児のためのおやつを考えたり、「A 家族・家庭生活」と「C 消費生活・環境」の関連を図り、家電製品の購入計画について話し合ったりするなど、これまでの学習で身に付けた知識及び技能を生かすことができるような工夫 <p>○ 内容の分量については、「ガイダンス」は14ページ、「A 家族・家庭生活」は56ページ、「B 衣食住の生活」は164ページ、「C 消費生活・環境」は28ページ、「選択生活の課題と実践」は11ページで、総ページ数は291ページであり、前回より5%増となっている。</p>			
使用上の配慮等		<p>○ 「環境」「防災」「伝統文化」などのマークや「プロに聞く」「せいかつメモ」などを掲載したり、中学生キャラクターや学習案内キャラクターを活用したりするなど、生徒の学習意欲を高めるよう工夫がなされている。</p> <p>○ 学習のまとめりごとに振り返る「まとめよう」や、学んだことを実生活につなげる「生活に生かそう」を位置付けるなど、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫がなされている。</p> <p>○ 幼児の使う小物や食品の概量などの実物大写真を掲載したり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			

<p>指導上の 配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域素材については、北海道で生産される野菜や、郷土料理（ちゃんちゃん焼き）、伝統文化（アットゥシ織）、特徴的な住まい（2重窓）などが取り扱われている。 ○ ICTの活用については、各内容の最初のページにQRコードが掲載されている。専用サイトは各内容の動画等が一覧で示されており、掲載されている実習作業の手順を示した動画や各内容に関わる他教科の関連資料などを授業の中で確認して作業を行ったり、学習の振り返りなどで資料を活用したりできるよう配慮がなされている。 ○ 小中連携による指導については、教科書の最初にあるガイダンスにおいて、小学校家庭科で学んだことを振り返り、中学校で学ぶ家庭科との関連について説明が掲載されている。また、「小学校マーク」で小学校の学習内容と深く関わる場所が分かる配慮がなされている。
<p>本市生徒の 学習の状況等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自らの力で生活の中から課題を見だし、見方・考え方を働かせ、よりよい生活を目指して工夫し創造する力を育むことができるよう、「生活の課題と実践の進め方」で計画、実践、評価、改善する学習過程を示すとともに、課題の決め方やまとめ、実践例、課題発見のヒント等により、課題の解決につながる工夫がなされている。 ○ 授業の中で身に付けた技能を生かして、実生活の中の問題を解決する力を育むことができるよう、幅広い難易度の実習題材を揃えて興味・関心に応じて実習題材を選べるようになっており、「私のオリジナル」を参考にして生徒が家庭で実践できる工夫がなされている。 ○ 学んだ知識を実生活の事象などと関連付けて定着させることができるよう、意見を整理する際に有効な思考ツールを活動の中に取り入れて自信をもって物事を判断できるようにするとともに、まとめの段階に「生活にいかそう」を設けて学習したことを生活に生かす工夫がなされている。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 作業の安全や衛生については、ガイダンスの前に2ページ掲載されている。 ○ 安全や衛生のポイントにはマークを付けて生徒の意識を高められるよう工夫がなされている。

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		6・教図	第1・2・3学年 家庭分野	家庭・702	New技術・家庭 家庭分野 くらしを創造する
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 家庭分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「A 家族・家庭生活」において、家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、家族・家庭や地域についての課題を解決する力を養うよう、家族の役を演じ、家族とのかかわり方について考える活動や、高齢者の疑似体験をする活動 ・「B 衣食住の生活」において、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、衣食住の生活についての課題を解決する力を養うよう、中学生の1日分の献立を考える活動や、自然災害に備えた安全な住まいの整え方を考える活動 ・「C 消費生活・環境」において、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、身近な消費生活と環境についての課題を解決する力を養うよう、クレジットカードによる買い物の仕組みについて理解を深める活動や、消費生活が環境に及ぼす影響を考える活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「私たちの消費生活」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、SDGsを取り上げ、普段の生活において特に重要だと思う目標を考え、グループで話し合うなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>			
内容の構成・排列、分量等		<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3学年間の学習の見通しを立てさせるため巻頭にガイダンス的な内容を位置けるとともに、「家族・家庭の基本的な働き」で基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける学習を行った後に、「地域の人々との協働のために」で地域の人々と協働する方法について学習するなど系統的・発展的に学習できるような工夫 ・「A 家族・家庭生活」と「B 衣食住の生活」の関連を図り、幼児のおやつを工夫したり、「A 家族・家庭生活」と「C 消費生活・環境」の関連を図り、新生活に必要な家電製品等についてレポートにまとめたりするなど、これまでの学習で身に付けた知識及び技能を生かすことができるような工夫 <p>○ 内容の分量については、「ガイダンス」は4ページ、「A 家族・家庭生活」は58ページ、「B 衣食住の生活」は168ページ、「C 消費生活・環境」は44ページ、「選択 生活の課題と実践」は10ページで、総ページ数は295ページであり、前回より3%増となっている。</p>			
使用上の配慮等		<p>○ 「環境」「防災」「伝統文化」などのマークや「センパイに聞こう」「メッセージ」などを掲載したり、中学生キャラクターや教師キャラクターを活用したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 学習のまとめりごとに自己評価する「ふり返る」や、学んだことを実生活につなげる「学びを生かそう」を位置付けるなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 新生児の手形や身近な食品などの実物大写真を掲載したり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするなど使用上の便宜が図られている。</p>			

<p>指導上の 配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域素材については、北海道の食材（ななつぼし）や郷土料理（三平汁）、北海道の特徴的な建築などが取り扱われている。 ○ ICTの活用については、各ページ上段にQRコードが掲載されている。各内容の専用サイトで構成され、実習作業の解説動画や関連資料などが掲載されており、実習前や実習中に手順を動画で確認したり、学習の振り返りに資料などを活用したりできるよう配慮がなされている。 ○ 小中連携による指導については、教科書の最初にあるガイダンスにおいて、小学校家庭科で学んだことを振り返り、中学校家庭科の学習へつなげる構成となっている。また、各章の最初のページの「リンク」で小学校の学習した項目が分かる配慮がなされている。
<p>本市生徒の 学習の状況等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自らの力で生活の中から課題を見だし、見方・考え方を働かせ、よりよい生活を目指して工夫し創造する力を育むことができるよう、身の回りの生活を見つめるきっかけをつくる「みつめる」のコーナーや、課題設定の参考にできる「私の課題例」、「課題設定のヒント」を設けたり、各章の最後ごとに「6つのステップの課題解決的な学習例」を示したりして、課題解決学習を繰り返すことで課題の解決につながる工夫がなされている。 ○ 授業の中で身に付けた技能を生かして、実生活の中の問題を解決する力を育むことができるよう、実習題材は、基本の作り方を基に「私のアレンジ」や「材料を工夫してみよう」、「どうしてこうなったのかな」を参考に、家庭でも実践できる工夫がなされている。 ○ 学んだ知識を実生活の事象などに関連付けて定着させることができるよう、学習のまとめりごとに自己評価する「ふり返る」や、学んだことを実生活につなげる「学びを生かそう」を位置付けるなど、学習したことを生活にいかす手立てを考える工夫がなされている。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 作業の安全や衛生については、ガイダンスの中で2ページ掲載されている。 ○ 安全や衛生のポイントにはマークを付けて生徒の意識を高められるよう工夫がなされている。

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		9・開隆堂	第1・2・3学年 家庭分野	家庭・703	技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 家庭分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「A 家族・家庭生活」において、家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、家族・家庭や地域についての課題を解決する力を養うよう、ロールプレイングを通して、家族の気持ちや立場を考える活動や、高齢者の歩行介助を体験する活動 ・「B 衣食住の生活」において、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、衣食住の生活についての課題を解決する力を養うよう、栄養のバランスのとれた1日分の献立を考える活動や、資源や環境に配慮した「リバーシブルバッグ」や「クッションカバー」などを製作する活動 ・「C 消費生活・環境」において、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、身近な消費生活と環境についての課題を解決する力を養うよう、クレジットカードの三者間契約のメリットやデメリットについて理解を深める活動や、消費者の行動が社会や環境に与える影響を考える活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「持続可能な社会」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、SDGsを取り上げ、自分たちがどのような取組ができるか話し合うなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</p>			
内容の構成・排列、分量等		<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3学年間の学習の見通しを立てさせるため巻頭にガイダンス的な内容を位置付けるとともに、「わたしの生活と家族・家庭」で基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける学習を行った後に、「家庭生活と地域での活動」で家庭生活と地域との相互の関わり方について学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ・「A 家族・家庭生活」と「B 衣食住の生活」の関連を図り、祖父母が喜ぶ食事を考えたり、「A 家族・家庭生活」と「C 消費生活・環境」の関連を図り、新しい電化製品を購入するために、それぞれの特徴を比較しまとめたりするなど、これまでの学習で身に付けた知識及び技能を生かすことができるような工夫 <p>○ 内容の分量については、「ガイダンス」は12ページ、「A 家族・家庭生活」は56ページ、「B 衣食住の生活」は158ページ、「C 消費生活・環境」は40ページ、「選択 生活の課題と実践」は22ページで、総ページ数は299ページであり、前回より8%増となっている。</p>			
使用上の配慮等		<p>○ 「環境」「防災」「伝統文化」などのマークや「先輩からのエール」「豆知識」などを掲載したり、中学生キャラクターや学習案内キャラクターを活用したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 学習のまとめりごとに基礎・基本の定着を図る「ふり返し」や、学んだことを実生活につなげる「生活にいかそう」を位置付けるなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 子どもの手形・足形や食品などの実物大写真を掲載したり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするなど使用上の便宜が図られている。</p>			

<p>指導上の 配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域素材については、北海道の食材（魚・野菜）や、郷土料理（サケ1尾から）、伝統文化（アットゥシ織）、特徴的な住まい（2重窓など）などが取り扱われている。 ○ ICTの活用については、各ページ下段にQRコードが掲載されている。専用サイトには各内容の目次が示されており、現在の学習に必要なものだけでなく、既習の学習の振り返りを行う上でも分かりやすい配置になっている。掲載内容として調理手順の解説動画のほか、教科書の内容の補足・追加資料があり、授業において教科書と併せて活用することにより内容の理解を深めることや、学習の振り返りに資料などが活用できるよう配慮がなされている。 ○ 小中連携による指導については、教科書の最初にあるガイダンスにおいて、小学校家庭科で学んだことを振り返り、中学校家庭科で学ぶ内容について説明が掲載されている。また、学習の導入部分において「小学校での学び」で学習内容や用語についてを具体的に振り返ることができるよう配慮がなされている。
<p>本市生徒の 学習の状況等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自らの力で生活の中から課題を見いだし、見方・考え方を働かせ、よりよい生活を目指して工夫し創造する力を育むことができるよう、身の周りのことを中心とした「考えてみよう」などの導入課題を配置し、学習への動機付けができるよう工夫がなされている。 ○ 授業の中で身に付けた技能を生かして、実生活の中の問題を解決する力を育むことができるよう、不要になったジーンズやシャツを再利用した例を紹介し、資源・環境問題への意識を高めるとともに、生活に役立つものづくりの計画・製作に生かせる配慮をしたり、「調理方法Q&A」で調理手順の科学的根拠を示したりして、作業の見通しをもって作業に取り組み、家庭で実践できるよう工夫がなされている。 ○ 学んだ知識を実生活の事象などに関連付けて定着させることができるよう、学習内容の課題である「生活にいかそう」で知識・技能を活用する力を養うとともに、課題を解決していく流れの例「生活の課題と実践」を参考にして計画・実践し、学習したことを生活にいかす手立てを考えることができるよう工夫がなされている。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 作業の安全や衛生については、実習に係わるページ毎に詳細に記載されている。 ○ 安全や衛生のポイントにはマークを付けて生徒の意識を高められるよう工夫がなされている。